団長の独り言 第40回公演「久美·美容室物語」

-月16日(日)「何と思われようとも」

昼夜稽古が始まった。

夜連続稽古に突入する。なると、13時から21時30分まで昼劇団ふぁんハウスでは、本番1か月前に

なく「ヘュー」と言われる。言うと、芝居経験のない人からは間違い「土日・両日とも昼から夜までの稽古」と

れないね。でねぇ・・・・。」って意味合いがあるかもしでねぇ・・・・。」って意味合いがあるかもし料を貰っているわけじゃない趣味の演劇「ヘぇー」のニュアンスは違うけれど、「出演一方、プロの方からも「ヘぇー」と言われる。

は一度もない。

劇団ふぁんハウスを「趣味」とは思った事で芝居にかける情熱は、プロとして活動で芝居にかける情熱は、プロとして活動がで居にかける情熱は、プロとして活動

とっくに空中分解している。とっくに空中分解している。を行っていたら、劇団ふぁんハウスなんてを行っていたら、劇団ふぁんハウスなんてをがいたら、劇団ふぁんハウスなんてをでいていたら、側はないがら、何もそんな

「劇団活動に力を入れすぎて、(生活のれた時もあった。

それなのに?何故にそこまでして?

まりの言葉が返ってくる。さになって言い返した。すると、必ずお決なんて事は絶対にありえません!」と剥なるでいるが動を70%60%の力で行うそう言われた瞬間、私はなんの迷いもな

基本的にそのスタンスは今も変わらない。分かってますよ!そんな事は。分かってますよ!そんな事は。分かってますよ!そんな事は。分かってますよ!そんな事は。

たのも、安定した生活が出来ているから、たのも、安定した生活が出来ているから、たのも、安定した暮らしが出来なければ、そこがジレンマではあるのだけどね。そこがジレンマではあるのだけどね。それこそ人生の最優先課題として劇団それこそ人生の最優先課題として劇団活動をここまで続けてこられただ劇団活動をここまで続けてこられたが刺団活動をここまで続けてこられたがある。

くて、精神的にズタズタになる事もある。公演が近づけば近づくほど、辛くて苦しと続けるってのは、正直、かなりきつい。ただ・・・勢いを衰えさせることなく、ずっ

我々に下さるからだ。

我々に下さるからだ。

我々に下さるからだ。

我々に下さるからだ。

なんながいる!!!稽古に精進してくれる全ての出演者のおしゃらになって劇団全体を盛り上げ、そして何よりも! 私の事を信じて、が

古」や「昼夜稽古」へと駆り立てるのだ。いいお芝居をご提供する!という責任が、いいお芝居をご提供する!という責任が、生懸命本気で、芝居創りと向き合える。

で芝居がしたくてうずうずしてくる。

な芝居を見せてくれてホッと一安心。な芝居を見せてくれてホッと一安心。 けれど、夜の稽古では、ダメ出しを真摯がお越しになったのに、間延びした、なんかお越しになったのに、間延びした、なんとも恥ずかしい「通し稽古」となり、イラを通り越して稽古中は眠くなったくの昼夜稽古、2日間ともひろーい稽古るの昼夜稽古、2日間ともひろーい稽古

ても「眠たい」芝居のオンパレード・・・。しかし今日の昼の部の稽古では、またし

テンポが良くて、エネルギーもあるのに まだしからいい感じで、物語にグイグイ とのあたりのダメを出し、1時間の食事 をのあたりのダメを出し、1時間の食事 は、恐らくみんな疲れてヘトヘトだ のうけれど、思い切って幕開きからエンデ のうけれど、思い切って幕開きからエンデ のうけれど、思い切って幕開きからエンデ のうけれど、思い切って幕間さからの食事

半を観ていると、早く自分もこの輪の中でないのに、みんながちょこっと意識を変えればこんなにも違うものか?ってくらい面白い。
私演じる「啓介」は前半は登場せず、後私演じる「啓介」は前半は登場せず、後私演じる「啓介」は前半は登場せず、後

感動のエンディングまで、エネルギッシュにもの後も集中力を途切れさせる事なく、た芝居を行う事が出来た。 といいのではないがら、私も思う存分、その後も集中力を途切れさせる事なく、そしていよいよ後半!皆さんのエネルギ

をみせてちょうだいねぇ。
次回は、今日よりもさらにすげーも稽古回数も残りわずか。

0